

# 重点プロジェクト

金ケ崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略の重点戦略を第十次金ケ崎町総合発展計画の重点プロジェクトに位置付けました。

<h2>1 若者が暮らしたいまちを創る</h2>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆従業員の大型免許取得に対して企業を補助</li> <li>◆町内企業に就職するためU・Iターンした若者への家賃補助</li> <li>◆金が咲き婚活協議会が開催する婚活事業への支援</li> <li>◆県外から婚活事業に参加する女性に対して交通費を支援</li> <li>◆フッ化物洗口の無料実施、予防接種への助成</li> <li>◆対象を拡大した医療費助成の継続</li> </ul>
<h2>2 女性にとって魅力的なまちを創る</h2>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆女性トラック運転を育成する企業に対して補助</li> <li>◆認可外保育所やファミリーサポートの利用料を一部助成</li> <li>◆子育て支援員の研修を実施し、保育施設等の人員確保を支援</li> <li>◆特定不妊治療に対する助成</li> <li>◆授乳やおむつ交換ができる赤ちゃんの駅の設置拡大</li> </ul>
<h2>3 活力と特色のある地域を創る</h2>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆会議等において合意形成や相互理解に向け深い議論を展開させるため、職員・地域関係者をファシリテーター（促進・調整役を担う人）として養成</li> <li>◆希望郷いわて国体を契機としたスポーツ人口の拡大を図るため、高校や大学チームなど、町内でスポーツ合宿を行う場合の助成制度を創設</li> <li>◆アスパラガスの新規栽培者の掘り起こしや栽培面積の拡大を進めるため、支援施策やPR活動などを継続</li> </ul>

## TSUNAGI (つなぎ) プロジェクト

◆「まちの宝を未来につなぐ」、「茅文化を後世につなぐ」、「まちと人をつなぐ」、「女性の夢をつなぐ」をテーマとして、地域おこし協力隊を募集・設置し、TSUNAGI (つなぎ) プロジェクトとして、新しい視点から重点プロジェクトの推進、取組の加速・充実を図る

# 新規事業

平成 29 年度の新規事業と予算額を紹介します。

事業名	内容	予算額	事業名	内容	予算額
空家対策事業	空家等対策計画の策定	374万円	農村地域防災減災事業	ため池のハザードマップ作成委託	351万円
若者・女性活躍推進事業	地域おこし協力隊活動事業など	1,153万円	商業活性化人材育成事業	商業活性化に向け主体的に取り組む若手人材の養成を図る事業	38万円
自治体経営検討事業	自治体経営調査研究	193万円	コミュニティ・スクール	学校運営協議会を全小中学校で実施	18万円
活力と特色ある地域づくり事業	ファシリテーター養成研修など	320万円	幼稚園保育料システム改修事業	幼稚園保育料システムの改修委託	516万円
肉用牛素牛供給体制整備事業	肉用牛素牛の安定供給体制整備にかかる補助	175万円	スポーツ合宿誘致促進事業	町外の大学・高校などが町内でスポーツ合宿を行った際の補助	50万円

# 教育行政方針



千葉祐悦教育長は3月議会定例会で平成29年度の教育行政方針を述べました。

「まちづくりは人づくり」を柱とした、「第十次総合発展計画」及び「金ケ崎町教育振興基本計画」実施の2年目となり、「豊かな心を育てるまち」を目指し、更なる発展に向けて始動します。

## 生涯を通じて学びあう人づくりの推進

**1 生涯教育環境の充実** ▶ 学習ニーズに沿った企画運営を行えるよう人材育成に取り組む ▶ 町民大学の開設と出前講座の実施 ▶ 南方地区体育館及び西部地区体育館のトイレ改修工事 ▶ 「家庭教育宣言」運動と「地域子育て宣言」運動の推進 ▶ 「たくましいかねがさきっ子育て推進大会」を開催 ▶ 自然体験教室や社会体験教室、放課後子ども教室などを実施 ▶ メディア対応力を身につけるための学習機会の提供 ▶ 中学生議会を実施 ▶ 中学生海外研修を実施 ▶ 地域社会の担い手支援 ▶ 高齢者世代などが有する豊富な技術や知識を活かした地域活動を行うための環境づくり ▶ 青少年劇場を開催 ▶ 第9回町民劇場を開催 ▶ 町民芸術文化祭の支援 ▶ 地域における芸術文化活動の推進

**2 読書活動の推進と資料の活用** ▶ 県立図書館との団体貸出制度、県内外図書館との相互貸借制度を利用し、ニーズに応える ▶ エミリィ・ディキンソンに関する情報や解説をホームページや広報に掲載

## 未来を担う次世代を育成する学校教育の推進

**1 幼児教育の充実** ▶ 幼児期にふさわしい総合的で多様な遊びの体験を通して、心身の調和のとれた発達を図る ▶ 幼保小接続期カリキュラムの実践 ▶ 幼稚園児バスの無料化

**2 義務教育の充実** ▶ 明確な目標を年度ごとに設定し、その達成に向けて組織的に取り組む目標達成型の学校経営を推進 ▶ コミュニティ・スクール制度の導入 ▶ いじめを許さない風土づくり ▶ 県が推進する「希望郷いわて 元気・体力アップ60運動」と健康教育の推進 ▶ 栄養バランスのとれた、安心安全でおいしい給食を提供 ▶ 「町産食材100%の日」や「弁当の日」など食育の取り組みの推進 ▶ 防災教育、安全教育の推進

**3 英語教育の充実** ▶ 4人の英語指導員、英語指導助手による充実した英語活動を継続 ▶ 英検検定料の補助

**4 特別支援教育の充実** ▶ 特別支援教育支援員の配置 ▶ 「相談支援ファイル」を利用した支援の質向上

**5 ふるさと教育** ▶ 要害歴史館や鳥海柵などを利用した学習によりふるさとへの愛着心を醸成

**町子ども育成条例の取り組み** ▶ はげまし制度の継続実施とともに、同取組を地域との関わりの中で充実させていけるよう、コミュニティ・スクールと関連付けながら、その在り方を検討

## 歴史を伝え活かす人づくりの推進

**1 文化財の保存と活用** ▶ 文化財の調査と保護 ▶ 国指定史跡鳥海柵跡の保存管理 ▶ 鳥海柵跡や安倍氏の調査研究の実施、学習会やシンポジウムの開催、原添下区域南東部の調査を実施 ▶ 城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区の歴史的景観の整備や管理、情報発信に努める ▶ 金ケ崎要害歴史館での展示、企画展の実施や児童生徒の見学推進

**2 郷土文化の継承** ▶ 軍馬の郷六原資料館(旧陸軍省軍馬補充部六原支部官舎第1棟)での桑島重三郎の功績や関連資料の展示 ▶ 同官舎第2、3棟の利活用について地区民や岩手県、関係者と協議 ▶ 千田正記念館を先人顕彰施設・奥州街道のお休み処として地域と連携しながら活用 ▶ ふるさと教育を通じ、無形民俗文化財の団体と地域との連携を模索

## スポーツに親しむ人づくりの推進

▶ 国体を契機として、さらにスポーツ交流人口の拡大を図るため、スポーツ合宿誘致促進事業補助金制度を創設 ▶ ニュースポーツの普及 ▶ 各種大会の開催(金ケ崎マラソン、町民スポーツ大会、町民ゴルフ大会、町内一周駅伝競走大会など) ▶ 金ケ崎マラソン大会へのゲストランナー招へい等内容の充実を図る ▶ スポーツ関係団体の支援 ▶ 指導者の人材育成